



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No.35 2005.4.27(No.2362)

第2560地区ガバナー / 横山 芳郎
会 長 / 渡邊 喜彦
会長エレクト / 小越 憲泰(クラブ奉仕A)
副 会 長 / 渡辺 勝利(クラブ奉仕B)
幹 事 / 五十嵐 寿一
S A A / 船越 正夫
会 計 / 荻根澤 隆雄

例会日 / 毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び事務局 /
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場 / TEL 34-3311
事務局 / TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを
押ししてください)

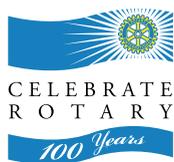
本日の出席会員数: 65名中65名
先々週出席率: 82.81%

【ヴィジター】

- ・三條北より 梨本清一さん
- ・燕RCより 片山 弘さん、
山本 忠さん

【先週のメイクアップ】

- [4.23] 新津RC50周年へ
・藤田説量さん、五十嵐寿一さん、
・石橋育於さん、松谷昊吉さん
- [4.25] 三條南へ
・五十嵐晋三さん、平原信行さん



「ロータリーを祝おう 100年の歩み」
2004~2005年度国際ロータリーのテーマ



椿 (本成寺日輪)

会 長 挨拶

渡邊喜彦 会長



みなさんこんにちは。今日は燕クラブより次年度AG片山さんと山本さんがIMのPRにおいでになられております。また、三條北クラブより梨本さん、ようこそおいでくださいました。どうぞごゆっくりお過ごしください。

先回、先先回の例会は、小越次年度会長に会長代行をお願い致しました。

さて、先日の25日の朝9時18分頃に発生致しました、JR西日本鉄道の福知山線で発生致しました脱線事故による被害が、予想を上回る大事故となりました。今朝のニュースによりますと、死亡者が90名を超えたということです。まだ車内に取り残された方々の救出と、搬送された方々の中から死亡に至る方も増えるのではないかと心配されるところでございます。テレビのニュースを見ながら、関係ご家族の突然事故によるショックと悲嘆にくれるお姿を拝見するたびに胸が締め付けられる思いでございます。2度とこういう事故が起きてはならないと思います。

また、フランスのパリ郊外で発生しました日本人観光客を乗せたバスの高速道路外への転落事故により、日本人観光客が3名亡くなられたということです。いずれにしても、大変痛ましい事故が続いております。

これらの背景には、以前から私がお話ししている日本人の人的レベルの低下があるのではないかと、思っています。

それは、電車を運転する運転士が多くの人命を預かっているという自覚と、責任意識の低下ということがあり、われわれは、そういう質の低下が何故起っているのか、を早急に究明し一刻も早い改善が必要であります。

中国における反日デモや、中国側の主張に一言も反論出来ない我国ではどうにもならず、我々として、どう対処すべきかを真剣に考えなければならないのではないかと、思う次第

第です。

さて、話は変わりますが、昨日三条市内6クラブの会長幹事さんと次年度の会長幹事さんとの会長幹事会が行われ、出席してまいりました。

本年は、北ロータリークラブさんの担当で行われ、大変有意義な時間を過ごしてまいりました。私もあと6回の例会運営を残すところとなりました。残った例会をしっかりと取り組んでまいりたいと思います。

本日の卓話は並木会員です。よろしく願い申し上げまして、会長の挨拶を終わります。

5月のお祝い

会員誕生祝

- 1日 山本福七さん
- 1日 成田秀雄さん
- 8日 菊池 渉さん
- 17日 松永一義さん
- 17日 五十嵐浩さん
- 21日 若槻八十彦さん
- 22日 明田川賢一さん
- 24日 小林敬典さん
- 24日 松谷昊吉さん
- 25日 船越正夫さん
- 27日 永井敏行さん



夫人誕生祝

- 8日 橘 信子さん(直樹)
- 14日 石塚靖子さん(欣司)
- 15日 明田川みゆきさん(賢一)

結婚記念祝

- 1日 近藤雄介(律子)さん
- 2日 若槻八十彦(由美子)さん
- 5日 小越憲泰(百合子)さん
- 8日 佐野勝榮(美知子)さん
- 10日 加藤紋次郎(一代)さん
- 10日 野水文治(富子)さん
- 11日 伊藤寛一(美智子)さん
- 20日 菊池 渉(まゆみ)さん
- 22日 五十嵐昭一(きみ子)さん
- 24日 阿部吉弘(香苗)さん
- 27日 永井敏行(桜子)さん
- 28日 会田二郎(陽子)さん

100%出席賞

- 1年 杉山幸英さん

ニコニコBOX

燕RC 片山 弘さん、山本 忠さん

本日はよろしく願いいたします。

三条北RC 梨本清一さん

三条RCの皆様、お久しぶりでございます。

渡邊喜彦さん

2回の例会をおいての久しぶりの例会出席です。小越エレクト、代行ありがとうございました。あと6回の例会で私の会長任期も終わります。よろしく願います。

小林敬典さん

先日、那須・白河に行って来ました。郡山・三春の桜を見て来ました。とてもきれいでした。

明田川賢一さん

やっと花粉症がおさまり、さわやかな春を感じられるようになりました。

荻根澤隆雄さん

またまた大変な事故が発生、列車に乗る時は後方の車両へ……今日は良いことがと願って預金します。杉山幸英さん、佐藤 武さん、金子俊郎さん、松永一義さん、五十嵐昭一さん、小越憲泰さん、丸山行彦さん、石塚欣司さん、樺山 仁さん、外山雅也さん、渡辺勝利さん、会田二郎さん

並木会員、卓話ご苦労様です。楽しみにしております。

4月27日分 ￥ 20,000

今年度累計 ￥ 887,000

卓話

「お金の話」

並木富士雄会員

第四銀行三条支店の並木です。

今日は、お金とお金にまつわる話をさせていただきます。

「お金の話」といいますと「経済学的な視点」や、お賽銭は何故投げ入れるのか、祝儀には何故新札を使用するのか、といった「民俗学的な視点」での話などがありますが、今日はこうした

面倒な話ではなく、現在私たちが毎日使用している「硬貨」や「紙幣」そのものと、お金にまつわる話を致します。

私たちは、毎日「硬貨」や「紙幣」を手にしてはいますが、その内容や特徴等については漠然とした理解が多いようです。

例えば、1円硬貨の直径がいくらかをお聞きしますと、多くの方が1センチないし1センチ5ミリと答えます。正解は2センチです。

また、今年、初詣で賑わう神社で偽1万円札が発見され大きな問題となりました。

こうした偽造被害を回避することからも私たちは、通貨の内容や特徴をしっかりと把握しておくことが大切です。

個々の通貨の内容や特徴に入る前に、現在の貨幣制度の原形がいつ確立されたのかを説明します。

この原形は、「国内通貨の統一」という金融課題を抱えた明治政府が1873年(明治6年)に交付した「新貨条例」にあります。この条例では、

貨幣単位がそれまでの「両」「分」「朱」から「円」「銭」「厘」に変更が行われました。

それまでの10進法と4進法の併用から10進法に統一されました。

今ほど「両」という通貨単位が出てきましたが、よく時代劇などで見かける「千両箱」の重さがどの位あるかを計算しますと、千両箱(ヒノキやけやき製)そのもので3.75kg、江戸時代初期の慶長小判を参考にすると1両が18g、従って「千両箱」の合計は約22kgの重量となります。

ねずみ小僧は相当な力持ちで健脚であったようです。

それでは各通貨について、内容や特徴等を説明します。

(1円硬貨について)

製造は昭和23年、その後、昭和30年に素材をアルミニウムとし、現在に至っています。また、わが国の硬貨で唯一水に浮く硬貨です。

硬貨表面には「若木」がデザインされていますが、このデザインは一般公募され採用されました。先ほども話したように1円硬貨の直径は2センチあり、重さが1gあります。

貨幣には、価値尺度機能、交換手段機能、価値の貯蔵機能等3つの機能がありますが、この他に長さや重さを図る度衡機能があることを知っておけば便利ではないでしょうか。

(5円硬貨について)

製造は昭和23年で硬貨の中では「最古参」です。製造後1年足らずで、1円硬貨と区別を明確にすること、偽造防止、コスト削減等を理由とし穴があげられ現在の形式に変更されました。

硬貨表面には「稲穂・歯車・水」がデザインされていますが、それぞれ農業、工業、水産業の振興を意図しています。

(10円硬貨について)

製造は昭和27年で昭和34年に改定され現在に至っています。

硬貨表面には、「京都府宇治市の平等院鳳凰堂」がデザインされて屋根には鳳凰が描かれています。

昭和34年から平成14年までの総発行枚数は、約273億枚でこれを距離換算すると約64万kmとなります。地球1周が約4万kmですから16周する距離となります。

(50円硬貨について)

製造は昭和30年で、昭和34年に5円硬貨と同様の理由により穴があげられ、更に昭和42年に改定され現在に至っています。

表面には菊の花がデザインされ、昭和42年から平成14年までの総発行枚数は約46億枚です。

ところで、皆さんもご存知の日本一の繁華街といわれる「銀座」ですが、この名前は貨幣と密接に関連していますので説明をします。

時代は徳川、当時の通貨制度は「金貨」「銀貨」「銅=銭貨」の3つで「三貨制度」といわれ、これら3つの貨幣の鑄造は「座」と呼ばれる特権を持った町人により幕府からの請負形式で行われていました。

「金座」は、現在の日本橋にある日本銀行本店所在地に設けられ、「銀座」は、銀貨を鑄造する座として当初京橋にあり、その後、蛸殻町に移され「銀座」の名はその町名として残り現在に至っています。ちなみに、新潟県内では、相川と高田に銭座がありました。

(500円硬貨について)

製造は昭和57年で、その後偽造・変造が急増しその対応として平成11年に現在の形式に改定されました。

表面には桐の花や葉がデザインされ、繊細な加工が施されています。

裏面の500円の表示部分には「500円の文字が見え隠れする」潜像加工や、縁にギザギザを付けるなど偽造防止の工夫が施されています。

(硬貨や紙幣の表裏について)

硬貨の表裏については、法的根拠はないようです。明治30年までは「新貨条例」で新貨幣を発行する都度「貨幣形式の表裏」を明示して発行していました。理由はわかりませんが、その後制定された「貨幣法」にはこうした区分がなくなり、以来貨幣については「年名があるほうが裏」「その反対が表」として取り扱われています。

紙幣は、肖像があるほうが表で日本銀行総裁印があり、裏面には日本銀行発券局長印があります。

(肖像選定の理由)

紙幣には「人物の肖像」が多く採用されていますがその主な理由として

第1に人間は常日頃から人の顔に敏感であり、無意識の内に識別能力を備えていることから偽造防止の狙いがあります。

第2に肖像は券面を引き締め美的感覚上において効果的というデザイン上の理由。

第3に肖像を用いることにより人々に紙幣に対する親近感を持たせるなどの理由があります。

続いて紙幣について説明をしますが、新札は偽造防止措置として様々な工夫がされていますのでこれを中心に説明します。

(1,000円札について)

2券種ありますが、いずれも中央部分に「すかし」があります。各紙幣にも共通しますが、「すかし」は本物を見分ける重要なポイントの1つです。新札は、表面左下に見る角度により算用数字の「1000円」と漢数字の「千円」が浮かび上がります。また表面右端を光に透かすと「白い縦線」が1本見えます。

表面左右の余白部分には、お札を傾けるとピンク色をした半透明な模様が浮かび、裏面右端部分には、お札を傾けるとローマ字の「NIPPON」の文字が浮かびあがる等、数々の工夫が施されています。

(2,000円札について)

製造は沖縄サミットのあった平成12年夏に発行され、表面には沖縄の首里城の城門である守礼門がデザインされています。中央部分には「すかし」があります。

偽造防止の工夫として表面右上の「2000円」表示部分は角度を変えると青緑色から紫色に変わります。

裏面には「源氏物語絵巻」の絵図と作者の紫式部が描かれています。

(5,000円札について)

2券種ありますが、中央部分には「すかし」があります。

新札の偽造防止の工夫は新千円札とほぼ同じですが、表面左下に見る角度により図柄や数字が浮かび上がる「ホログラム」処理が施されています。また、表面右端を光に透かすと「白い縦線」が2本見えます。

(10,000円札について)

新札について説明をしますが、偽造防止の工夫として中央部分の「すかし」や「ホログラム」などは新千円札・五千円札と同じです。

表面右端を光に透かすと「白い縦線」が3本見えます。

(何故NIPPON GINKOか)

各紙幣裏面上部にはローマ字で「ニホン」ではなく「ニッポン」と表示されていますが、何故「ニホン」でないかということですが、

その理由については一説に

わが国の紙幣にはじめて「NIPPON」の文字が入ったのは明治18年の百円札と一円札ですが、当時の大蔵大臣と日本銀行総裁が薩摩藩の出身でニホンをニッポンと発音したから、といわれています。

ちなみにこの「NIPPON」のローマ字は郵便切手にも使用されています。さて、お金について様々説明をしてきましたが、その内容や特徴について理解を深めていただければ幸いです。

本日は有難うございました。

次週例会 5月11日 山菜を楽しむ例会

次々週例会 5月18日 クラブフォーラム

